

運営推進会議 記録

	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートとしては施設の BCP がうまく流れているか、職員全員の認識や動きに関しての確認作業や訓練を継続的に実施し周知徹底することからではないかと思う（中川） ・特養：幸楽荘は福祉避難所でもあるため、民間防犯・防災システムに地震5弱発生後、全職員に向けてメールが届くようにしてある。しかしメールを見ていらない職員もおり、うまく機能することは今後の課題。夜間帯の職員は限られておりもし地域の方々が避難してこられた時には断れないが、実情と合わせたときに混乱なく受け入れできるかどうか課題。この事を踏まえまずは職員全員が施設の防災システム、機器の使い方など、認識、理解し現実に運用できることを日々実践することとなった。 <p>まずは、この施設の BCP の徹底を各職員へ図っていくことから始め、それを地域へ案内できるものとしたらどうか（竹田）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域へ案内、開放することは、今後「なのはな」のスペースを利用していくだけに、施設の取り組みを掲示することなどでもできるのではないか（中川） <p>（2）</p> <p>地域交流スペースなのはなの活用について</p> <p>利用規約（案）作成。しばらくは無料で開放予定。今後、利用していただいた方々のアンケートや地域の公民館などの活用実態を勘案しながら利用料金を設定する予定はある。また、利用促進のための意見、助言をいただきたい（川崎）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動中の「100歳体操」、中央地区は希望者多くある。一度、市役所担当課へ案内してみたらどうか（清田、中川） ・私が継続している100歳体操教室を紹介できる（有馬） ・各包括生活支援コーディネーターの活動の場としても利用できるのではないか（中川） ・小学校のカリキュラム、社会見学の場所の提供ができるのではないか（清田）
意見を受け て	<p>（1）について</p> <p>まずは施設内での BCP について、職員へ周知徹底の実施、また今年度も行ったが、定期的に防災訓練を実施、継続していく。</p> <p>大きな目標としては地域の方らと協働した訓練を行いたいとは考えている。時期をみながら行政、関係機関へ相談し、指導助言をいただきながら取り組んでいきたい（川崎）</p> <p>（2）について</p> <p>助言いただいた内容からまずは「100歳体操」活動支援、指導している行政担当課へ連絡していく。また、13区の100歳体操を見学に出向いて参考にする。</p> <p>その他、何らかの機会あるごとに、小、中、高校の先生方へも案内していきたいと考える（川崎）</p>
その他	<p>次回開催予定：3月28日（金）13:30～</p> <p>内容：2025年事業計画報告、BCP策定・訓練状況報告など</p>
	<p>司会進行： 川崎 桂</p> <p>記録： 吉本浩美</p>